

宮崎体協

VOL.211

平成28年 3月発行
公益財団法人宮崎県体育協会
[題字] 会長 佐藤 勇夫

スキー競技
ジャイアントスラローム
内村祐子選手(都城工業高等専門学校)

スケート競技
ショートトラック
馬原大地選手(株式会社宮崎太陽銀行)

スキー競技
クロスカントリー
牛谷征貴選手(九州大学)

CONTENTS

陸上競技 男子400mハードル
村富浩太朗選手、内田俊輝監督(宮崎県立日南高等学校)

- ・巻頭言
- ・平成27年度公益財団法人宮崎県体育協会実施事業
- ・平成27年度公益財団法人宮崎県体育協会スポーツ優秀
・奨励賞表彰(小中高生)
- ・第70回国民体育大会関係事業
- ・みやざきアスリートフード試食会
- ・第70回国民体育大会写真展示
- ・第71回国民体育大会冬季大会報告
- ・平成28年度国民体育大会 第36回九州ブロック大会
- ・宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト
- ・女性アスリート研修会

- ・スポーツ少年団便り
- ・日独交流受け入れ事業
- ・指導者協議会便り
- ・スポーツ医・科学委員会
- ・加盟団体便り
- ・総合型地域スポーツクラブ便り
- ・指導の現場から
- ・チームみやざきペンリレー
- ・第2回公益財団法人宮崎県体育協会
会長杯争奪ゴルフ大会
- ・新春関係者の集い
- ・公益財団法人宮崎県体育協会賛助会
- ・編集後記



巻 頭 言

第81回国民体育大会、 第26回全国障害者スポーツ大会 (2026年)開催内々定！

～これから10年、周到な準備を～



公益財団法人宮崎県体育協会

専務理事 川崎 重雄

平成 27 年 7 月、日本体育協会理事会にて 2026 年、「第 81 回国民体育大会、第 26 回全国障害者スポーツ大会・宮崎開催」が内々定されました。そして、開催 5 年前（2021 年）に内定、文部科学省や日本体育協会の総合視察を経て 3 年前の 2023 年に開催決定となる見通しであります。国体は文部科学省、日本体育協会、開催都道府県 3 者の「主催」による開催となっております。その間、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック」開催が決定し、「本県からもオリンピックやパラリンピックの選手を」という熱が高まってきています。また、同年開催の鹿児島国体、2023 年開催の佐賀国体とスポーツを取り巻く情勢は慌ただしいものとなってきます。

さて、我々競技団体はこれから 10 年の間、何をどうなすべきか？

各競技団体は国体開催にあたっては「主管」の立場になります。つまり、宮崎県代表選手として競技をする人、そして、競技の運営をする人としての役割があります。

前者の役割としては、「天皇杯・皇后杯」の獲得を目指す「選手の育成」。後者の役割としては競技役員としての「スムーズな大会の運営」が求められます。双方ともに大きな課題であります。

選手強化については、短期、中期、長期計画による周到な取組が必要です。各競技団体により事情は異なりますが、目指すところは同じです。互いの取組の情報を共有し合い、切磋琢磨することも必要です。最終的には、「チーム宮崎」としてフルエントリーできる態勢と勝ち抜ける力をつけなければなりません。

また、「主管」する立場として、競技の運営スタッフの育成と充実が必要になってきます。総務員、審判員、記録員をはじめ競技役員や補助員の育成とその資質の向上は選手の競技レベルと同様に大切な要件です。

さらには、スポーツ環境の整備が必要であります。

それらの課題に向かって用意周到に取り組むことで宮崎県が「スポーツランドみやざき」として大きく発展していくものと考えます。宮崎での国民体育大会・障害者スポーツ大会開催の意義を認識し、県民総参加で地域を挙げて選手や観客を「おもてなし」し、大会を支えることで本県の魅力を全国に発信する絶好の機会ともなります。また、宮崎らしさを生かして関係機関との連携を図り、開催して良かったという「レガシー」を残していくことが最も大切であります。

「第 81 回国民体育大会、第 26 回全国障害者スポーツ大会・宮崎開催」を成功させるためにこれから 10 年、周到な準備に取り組んでいこうではありませんか。



昭和 54 年開催「日本のふるさと 宮崎国体」
天皇杯・皇后杯（レプリカ）及び賞状

平成27年度 公益財団法人宮崎県体育協会 実施事業(11月～3月)

11/ 5(木)	第 2 回九州地区体育協会連絡協議会	宮崎観光ホテル
11/10(火)	第 2 回企画委員会・競技力向上対策委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/13(金)	第 70 回国民体育大会表彰式・解団式・第 3 回選手強化対策会議	ホテルニューウェルシティ宮崎
11/18(水)	第 2 回総務委員会、財務委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/19(木)	第 2 回普及委員会、表彰委員会	
11/25(水)	第 2 回理事会	
11/30(月)	第 2 回スポーツ医・科学委員会	県医師会館会議室
12/ 4(金)	H28 九州ブロック大会県外会場地訪問	福岡県内各方面
12/12(土)	ミヤザキ・スポーツリーダーズ・セミナー 2015	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室
1/16(土)	ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト 1 次オーディション	宮崎県体育館
1/16(土) 17(日)	スポーツ少年団認定員養成講習会	青島青少年自然の家体育室 KIRISHIMA ツワブキ武道館
1/19(火)	第 71 国体冬季大会結団壮行式	県庁講堂
1/20(水) ～22(金)	H28 九州ブロック大会県外会場地訪問	大分県内・熊本県内・鹿児島県内各方面
1/29(金)	第 3 回スポーツ指導者協議会理事会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
2/ 2(火)	H28 九州ブロック大会第 1 回事務局班長会議	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 小会議室
2/ 7(日)	宮崎県スポーツ指導者研修会	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室
2/13(土)	第 2 回女性アスリート研修会	JA・AZM ホール大研修室
2/15(月)	H28 九州ブロック大会第 2 回常任委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
2/24(水)	第 3 回普及委員会、表彰委員会	
2/25(木)	第 3 回企画委員会、競技力向上対策委員会	
2/29(月)	第 3 回総務委員会、財務委員会	
3/ 3(木)	第 3 回スポーツ医・科学委員会	県医師会館会議室
3/ 6(日)	ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト 2 次オーディション	宮崎県体育館
3/ 7(月)	第 3 回理事会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
3/23(水)	臨時評議員会	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室



ミヤザキ・スポーツリーダーズ・セミナー 2015



第2回女性アスリート研修会

平成27年度 公益財団法人宮崎県体育協会 スポーツ優秀賞・奨励賞(小中高生)一覧 選手及び指導者

優秀賞(選手)団体

競技名	チーム名及び所属	大会名	成績
ソフト テニス	宮崎県選抜チーム ・日南市立飫肥中学校 ・都城市立高城中学校 ・延岡市立西階中学校	第26回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	準優勝
軟式野球	門川町立門川中学校 軟式野球部	文部科学大臣杯第6回全日本少年春季軟式野球大会	優勝
		第37回全国中学校軟式野球大会	優勝
サッカー	日章学園中学校 サッカー部	第46回全国中学校サッカー大会	準優勝
サーフィン	NSA 宮崎支部 ・宮崎市立木花中学校 ・日南学園高等学校 ・宮崎県立宮崎東高等学校	第50回全日本サーフィン選手権大会団体	優勝

優秀賞(選手)個人

競技名	氏名(所属)	大会名	成績
陸上競技	メイン 桜(宮崎県立宮崎工業高等学校)	第3回全国高等学校陸上競技選抜大会 女子ハンマー投 51 m 81 (※県新※県高校新)	第2位
	村富 浩太朗(宮崎県立日南高等学校)	第9回日本ユース陸上競技選手権大会 男子400 mハードル 52 秒 26	第1位
	山内 優毅(宮崎大学教育文化学部附属中学校)	第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会 C男子走幅跳 6 m 23	第1位
	西吉 菜汰(高鍋町立高鍋東小学校 高鍋陸上スポーツ少年団)	第31回全国小学生陸上競技交流大会 6年男子100 m 12 秒 22	第3位
	水久保 漱至/和藤 一真/野村 勇輝 木下 裕貴/林 公成/石神 奏太 (宮崎県立宮崎工業高等学校)	第9回日本ユース陸上競技選手権大会 男子4 × 100 mリレー 40 秒 46 (※大会新、県新、県高校新)	第1位
	串間 美希/福元 日和/齊藤 成希 山岡 桃子/松永 みゆな 弓削 千夏(宮崎市立大淀中学校)	第42回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子4 × 100 mリレー 48 秒 56(※県中学新)	第3位
柔道	森田 将矢(宮崎日本大学高等学校)	平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 男子55kg級	第3位
剣道	木島 飛翼(宮崎市立大塚中学校宮崎神武館道場)	第50回記念全国道場少年剣道大会 中学生男子個人戦	第1位
	三浦 航大(宮崎市立住吉中学校宮崎北辰館道場)	第40回全国道場少年剣道選手権大会 中学生男子個人戦	第3位
バドミントン	田口 真彩 (日向市立日知屋東小学校 くれよんクラブ)	第16回全国小学生ABCバドミントン大会 Bグループ女子の部	第2位

競技名	氏 名(所 属)	大 会 名	成 績
ウェイトリフティング	中嶋 梨香子(宮崎県立小林高等学校)	平成 27 年度レディースカップ第 7 回全日本女子選抜ウェイトリフティング選手権大会 58kg級	第 3 位
レスリング	松澤 大樹(宮崎日本大学高等学校)	JOC ジュニアオリンピックカップ 2015 年度全日本ジュニアレスリング選手権大会 カデットの部 グレコローマンスタイル 85kg級	第 1 位
	日高 兼士(宮崎日本大学高等学校)	JOC ジュニアオリンピックカップ 2015 年度全日本ジュニアレスリング選手権大会 カデットの部 グレコローマンスタイル 46kg級	第 3 位
空手道	南 瑠海(西都市立妻中学校 征柔館)	はまなす杯第 9 回全国中学生空手道選抜大会 中学 2 年男子個人組手	第 3 位
ゴルフ	中原 碧望(宮崎市立赤江小学校)	2015 年度第 9 回全国小学生ゴルフ大会	第 3 位
サーフィン	田中 大貴(日南学園高等学校)	第 50 回全日本サーフィン選手権大会 NSA ポイントランキング ジュニアクラス	第 1 位
	伊東 李安琉(宮崎市立木花中学校)	第 33 回全日本級別サーフィン選手権大会 1 級クラス	第 1 位

優秀賞(指導者)

競技名	氏 名(所 属)		大会名及び成績
陸上競技	稲垣 徳文(宮崎県立宮崎工業高等学校)		第 9 回日本ユース陸上競技選手権大会 男子 4 × 100m リレー 第 1 位 指導者
	田原 義雄(宮崎市立大淀中学校)		第 42 回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子 4 × 100m リレー 第 3 位 指導者
	秋本 純男(宮崎県立宮崎工業高等学校)		第 3 回全国高等学校陸上競技選抜大会 女子ハンマー投げ 第 2 位 指導者
	内田 俊輝(宮崎県立日南高等学校)		第 9 回日本ユース陸上競技選手権大会 男子 400m ハードル 第 1 位 指導者
	外園 武志 (宮崎大学教育文化学部附属中学校)		第 46 回ジュニアオリンピック陸上競技大会 C 男子走幅跳 第 1 位 指導者
	清 昭人(高鍋陸上スポーツ少年団)		第 31 回全国小学生陸上競技交流大会 6 年男子 100m 第 3 位 指導者
軟式野球	田中 政秀	(門川町立門川中学校)	第 6 回全日本少年春季軟式野球大会 優勝 指導者
	黒木 洸司朗		第 6 回全日本少年春季軟式野球大会 優勝 コーチ 第 37 回全国中学校軟式野球大会 優勝 指導者
ソフトテニス	石田 俊司(延岡市立西階中学校)		第 26 回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 準優勝 指導者
サッカー	花房 亮太(日章学園中学校)		第 46 回全国中学校サッカー大会 準優勝 指導者
柔道	白阪 憲介(宮崎日本大学高等学校)		平成 27 年度全日本ジュニア体重別選手権大会 男子 55kg級 第 3 位 指導者
剣道	小山田 敏(宮崎神武館道場)		第 50 回記念全国道場少年剣道大会 中学生男子個人戦 第 1 位 指導者
	愛甲 正三(宮崎北辰館道場)		第 40 回全国道場少年剣道大選手権大会 中学生男子個人戦 第 3 位 指導者

競技名	氏 名(所 属)	大会名及び成績
バドミントン	黒木 雄二(くれよんクラブ)	第16回全国小学生ABCバドミントン大会 Bグループ女子の部 第2位 指導者
ウエイト リフティング	内之倉 和彦(宮崎県立小林高等学校)	平成27年度レディースカップ第7回全日本女子選抜 ウエイトリフティング選手権大会 58kg級 第3位 指導者
レスリング	長倉 保美(宮崎日本大学高等学校)	JOCジュニアオリンピックカップ2015年度全日本ジュニア レスリング選手権大会 カデットの部 グレコローマンスタイル 85kg級 第1位 指導者
		JOCジュニアオリンピックカップ2015年度全日本ジュニア レスリング選手権大会 カデットの部 グレコローマンスタイル 46kg級 第3位 指導者
空手道	竹村 守人(征柔館)	はまなす杯第9回全国中学生空手道選抜大会 中学2年男子個人組手 第3位 指導者
サーフィン	川畑 匠平(フリーダムサーフボード)	第50回全日本サーフィン選手権大会 第1位 NSAポイントランキングジュニアクラス 第1位 指導者

奨励賞(選手)団体

競技名	団体名	大会名	成績
陸上競技	宮崎市立大淀中学校(陸上競技部)	第37回九州中学校陸上競技大会 女子総合の部 24点	優勝
サッカー	日章学園中学校(サッカー部)	第46回九州中学校サッカー大会	優勝
バレーボール	三股町立三股中学校(男子バレーボール部)	第48回九州中学校バレーボール競技大会 男子の部	優勝
ソフトボール	門川町立門川中学校(男子ソフトボール部)	第27回男子九州中学校ソフトボール競技大会	優勝
バドミントン	宮崎市立生目南中学校(男子バドミントン部)	第44回九州中学校バドミントン競技大会 男子団体	優勝
テニス	宮崎市立宮崎西中学校	第5回九州中学校テニス競技大会 男子団体	優勝
空手道	新富町立富田中学校	第11回九州中学校空手道競技大会 男子団体組手	優勝

奨励賞(選手)個人

競技名	氏 名(所 属)	大会名	成績
陸上競技	山内 優毅 (宮崎大学教育文化学部附属中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 1年男子 100m 11秒71	第1位
	松岡 知紀(宮崎市立宮崎西中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 共通男子 400m 50秒07	第1位
	上村 恵梨(美郷町立美郷南学園)	第37回九州中学校陸上競技大会 1年女子 100m 12秒79	第1位
	柳田 征彦/佐藤 隼/稲岡 廉 内越 遥己/川名 秀星/辻村 稜人 (延岡市立土々呂中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 低学年男子 4×100mリレー 46秒63	第1位
	黒木 理紗子/新坂 太佳子 上中野 圭子/神田 あやの 岡崎 瑞季/安達 もみじ (宮崎市立宮崎西中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 低学年女子 4×100mリレー 51秒94	第1位

競技名	氏 名(所 属)	大 会 名	成 績
バドミントン	樋口 太一／小川 翔悟 (宮崎市立生目南中学校)	第44回九州中学校バドミントン競技大会 男子ダブルス	第1位
テニス	坂本 陽菜 (宮崎市立宮崎中学校 シーガイアテニスアカデミー)	第5回九州中学校テニス競技大会 女子シングルス	第1位
		JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選 抜室内テニス選手権大会 地区予選 U18 女子シングルス	第1位
空手道	浜砂 昭仁(新富町立富田中学校 新富和道会)	第11回九州中学校空手道競技大会 男子個人組手	第1位
	黒木 美衣奈(串間市立有明小学校 緑勝会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学1年女子組手	第1位
	松田 剣志郎(串間市立福島小学校 緑勝会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学2年男子組手	第1位
	渡邊 拳聖(宮崎市立生目小学校 夢道場)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学4年男子組手	第1位
	長友 麻耶(西都市立妻南小学校 南空会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学4年女子組手	第1位
	木屋尾 春菜 (新富町立富田小学校 新富和道会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学5年女子組手	第1位
	井崎 安奏(宮崎市立大塚小学校 心道会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学5年男子形	第1位
	三輪 和生 (西都市立都於郡小学校 征柔館)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学6年男子組手	第1位
	岡園 陽向 (えびの市立加久藤小学校 宮崎修道会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学6年男子形	第1位
	八頭司 明(宮崎第一高等学校)	第41回全九州空手道選手権大会 少年女子組手個人戦	第1位
	宜保 ありさ(宮崎第一高等学校)	第41回全九州空手道選手権大会 少年女子形個人戦	第1位
ゴルフ	関 凌之介(日章学園高等学校)	平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会 九州大会	第1位

奨励賞(指導者)

競技名	氏 名(所 属)	大会名及び成績
陸上競技	田原 義雄(宮崎市立大淀中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 女子総合の部 優勝 指導者
	岩村 佳憲(延岡市立土々呂中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 低学年男子4×100m リレー 第1位 指導者
	神田 弘子(宮崎市立宮崎西中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 低学年女子4×100m リレー 第1位 指導者
	外園 武志 (宮崎大学教育文化学部附属中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 1年男子100m 第1位 指導者
	沼口 后輝(宮崎市立宮崎西中学校)	第37回九州中学校陸上競技大会 共通男子400m 第1位 指導者
	藤本 久充 (日向アスリートスポーツ少年団)	第37回九州中学校陸上競技大会 1年女子100m 第1位 指導者
サッカー	花房 亮太(日章学園中学校)	第46回九州中学校サッカー競技大会 優勝 指導者

競技名	氏 名(所 属)	大会名及び成績
バレーボール	水尾 彰太(三股町立三股中学校)	第48回九州中学校バレーボール競技大会 男子の部 優勝 指導者
ソフトボール	中川 直人(門川町立門川中学校)	第27回九州中学校ソフトボール競技大会 男子の部 優勝 指導者
バドミントン	森田 隆 (生目南中学校 男子バドミントン部コーチ)	第44回九州中学校バドミントン競技大会 男子団体・ダブルス 優勝 指導者
テニス	小椋 大 (宮崎市立宮崎西中学校男子テニス部コーチ)	第5回九州中学校テニス競技大会 男子団体の部 優勝 指導者
	小林 真吾 (シーガイア テニスアカデミー)	JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選抜 室内テニス選手権大会地区予選 U18 女子シングルス 第1位 指導者
空手道	鶴田 正利 (新富和道会/ 新富町立富田中学校 空手道部コーチ)	第11回九州中学校空手道競技大会 男子個人組手 第1位 指導者
		第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学5年女子組手 第1位 指導者
	平田 慎也(緑勝会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学1年女子組手 第1位 指導者
		第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学2年男子組手 第1位 指導者
	渡邊 誠一(夢道場)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学4年男子組手 第1位 指導者
	橋口 登志郎(南空会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学4年女子組手 第1位 指導者
	西内 重夫(心道会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学5年男子形 第1位 指導者
	竹村 守人(征柔館)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学6年男子組手 第1位 指導者
	岡園 公治(宮崎修道会)	第2回全九州少年少女空手道選手権大会 小学6年男子形 第1位 指導者
	図師 幸一(宮崎第一高等学校)	第41回全九州空手道選手権大会 少年女子組手 個人戦第1位 指導者 少年女子形 個人戦第1位 指導者

これが総合運動公園の合宿所です!

●2段・3段ベッドじゃない●ロッカー付きでホテル並み●栄養重視の食事

うめ～っちゃが!
公益社団法人宮崎県栄養士会が
監修したメニューを、愛情を
込めて作っています。



運動公園ではスポーツ合宿を行う際の宿泊施設として合宿所を利用することができます。

食事は、スポーツパフォーマンスの向上のために考えられた県栄養士会監修のメニューとなっています。

【朝食】一日のエネルギー 【昼食】疲労回復と次へのエネルギー
【夕食】疲労回復と筋肉の修復!!

料金の例(1泊3食及びシーツ代)

・小中学生 2,300円・高校生 2,410円・その他 2,960円

申込み
お問合せ

KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園

総合受付: 0985-58-5588

公益社団法人宮崎県スポーツ施設協会

第70回国民体育大会 「紀の国わかやま国体」解団式・懇談会



佐藤会長の解団のあいさつ

宮崎県選手団とその関係者が集い、「紀の国わかやま国体」の解団式が行われました。

また、来る「希望郷いわて国体」へ向けた志気を高めるための親睦会が開催されました。競技団体の相互交流が図られ、有意義な時間となりました。



関係者による「がんばるぞ三唱」

第4回選手強化対策会議

平成27年11月13日、ホテルニューウェルシティ宮崎において、第4回選手強化対策会議が開催されました。競技力向上対策委員長の中馬座長のもと、「国民体育大会入賞に向けた取組」と題して、ディスカッションが行われました。パネラーの皆さんは、各世代毎の連携と中長期的な強化策の重要性を訴えていました。



大園氏、才田氏、横山氏、上中園氏による討論会

みやざきアスリートフード試食会

県と県栄養士会による「アスリートフード」試食会が、11月27日にシーガイアコテージ・ヒムカにおいて開催されました。県内高校のアスリートが試食会に参加しました。県にとっては、食事面でも「スポーツランド」をアピールする試みであり、参加した高校生は、アスリートの体力を維持する食事とあって、食の大切さを学びながら味わっている様子でした。



量、栄養、美味しさともに満点のアスリートフード

第70回 国民体育大会 2015紀の国わかやま国体 チームみやざき写真展示



本年度は宮崎県立図書館、宮交シティにて、第70回国民体育大会で躍動した選手の写真を展示いたしました。

国民体育大会についての説明や開会式で本県選手団のプラカード係をしていただいた、一般社団法人ガールスカウト和歌山連盟からの激励の色紙等も展示させていただきました。

御覧いただいた方からは「このような企画はとても良い事だと思います」「宮崎の体育・スポーツをもっと理解したいですね」「わかやま国体、頑張られたのですね」などの御意見が寄せられました。



宮崎県立図書館



宮交シティ



国民体育大会冬季大会報告

● 冬季大会男女総合成績(天皇杯得点) 36位

参加点／総合 30 点 (スケート 10 点 アイスホッケー 10 点 スキー 10 点) 競技得点／総合 0 点

第35回国民体育大会九州ブロック大会 アイスホッケー競技会

- 期日／平成27年12月5日(土)
- 会場／福岡県立総合プールスケートリンク

■ 成年男子 1回戦

福岡県 17 $\begin{pmatrix} 4-0 \\ 4-0 \\ 9-0 \end{pmatrix}$ 0 宮崎県



2年連続の対戦となった福岡戦

第71回国民体育大会 冬季大会スケート競技会

- 期日／平成28年1月27日(水)～1月28日(木)
- 会場／岩手県立県北青少年の家スケート場

[ショートトラック 1000m 予選3組]

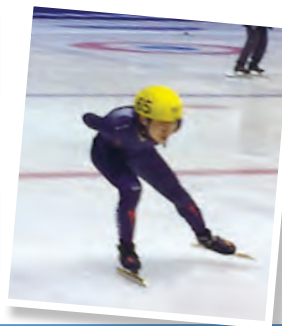
区分	氏名／所属	タイム	順位	備考
成年男子	馬原 大地 (宮崎太陽銀行)	1分45秒154	5 位	予選落ち

[ショートトラック 500m 予選2組]

区分	氏名／所属	タイム	順位	備考
成年男子	馬原 大地 (宮崎太陽銀行)	50秒252	5 位	予選落ち



馬原選手 (中央)



最後まで
安定した滑りで
フィニッシュ

第71回国民体育大会 冬季大会スキー競技会

■クロスカントリー

- 期日/平成28年2月22日(月)
- 会場/岩手県八幡平市田山クロスカントリーコース

区分	氏名/所属	タイム	順位	備考
成男A	庄司 孝介(東北大学)	35分35秒4	74位	ふるさと
成男A	牛谷 征貴(九州大学)	37分03秒6	78位	ふるさと

■ジャイアントスラローム

- 期日/平成28年2月21日(日)～23日(火)
- 会場/岩手県八幡平市安比高原スキー場

区分	氏名/所属	タイム	順位	備考
成年男子A	小佐井孝彰(山梨大学)	1分31秒62	94位	ふるさと
成年男子A	田口 浩徳(旭化成株式会社)	1分34秒16	96位	
成年男子C	多田隈俊哉(新田原航空自衛隊)	1分31秒19	90位	
成年男子C	米田 文夫(宮崎県スキー連盟)	1分41秒98	107位	
成年男子C	内倉 浩二(宮崎県スキー連盟)	1分47秒78	110位	
少年男子	坂井 優光(県立都城西高等学校)	1分27秒73	107位	
少年男子	内村 友宏(都城工業高等専門学校)	1分40秒34	134位	
少年男子	古川 奨悟(県立五ヶ瀬中等教育学校)	1分59秒19	138位	
少年男子	杉田 遼河(県立五ヶ瀬中等教育学校)	-	-	DNF
少年男子	横川 晟吾(県立五ヶ瀬中等教育学校)	-	-	DNF
少年女子	内村 祐子(都城工業高等専門学校)	1分46秒80	106位	
少年女子	村中 愛美(県立五ヶ瀬中等教育学校)	2分26秒62	111位	
少年女子	内倉多恵子(県立五ヶ瀬中等教育学校)	-	-	DNF

※ふるさと……………ふるさと登録選手※ DNF……………DID NOT FINISH (途中棄権)



開始式に挑む旗手の坂井選手



クロスカントリーの牛谷選手



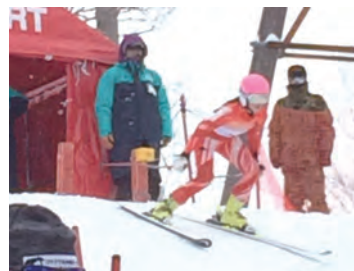
成年男子A大回転の田口選手



成年男子C大回転の多田隈選手



成年男子C大回転の内倉選手



勢いよくスタートする少年女子内村選手

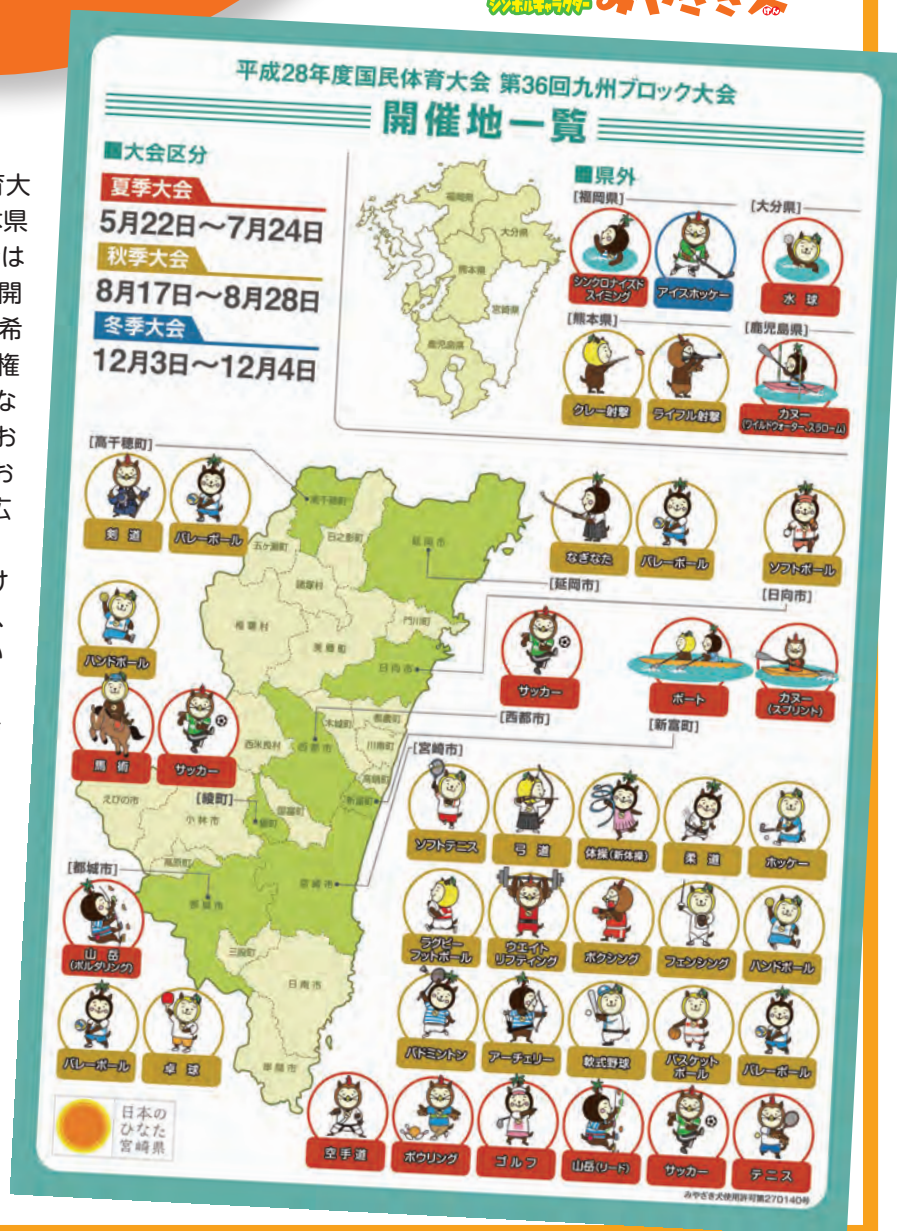
平成28年度 国民体育大会第36回 九州ブロック大会 本県開催!



来年度、平成28年度国民体育大会第36回九州ブロック大会が本県を中心に開催されます。この大会は毎年、九州8県が持ちまわりで開催しており、来年度開催される「希望郷いわて国体2016」の出場権を目指した九州地区の予選会となります。右記の開催地一覧のとおり、県内8市町、県外4市町において32競技が熱い戦いを繰り広げます。

この大会の円滑な運営に向けて、大会実行委員会、関係市町、関係競技団体は準備に追われているところです。

県民の皆様も、是非近くの会場に足を運んでいただき、宮崎県選手団への熱い応援をお願いいたします。



宮崎ワールドアスリート 発掘・育成プロジェクト

第1次 オーディションを開催!

平成28年1月16日(土)、宮崎県体育館において、「宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」第1次オーディションを開催しました。

このプロジェクトは、2020年東京オリンピック等の国際大会や2026年第81回国民体育大会(本県開催内々定)等における本県出身者のメダル獲得を目指すものです。

本事業では、発掘された体力・運動能力が特に優れた子どもたちを選考し、子どもたちの可能性を引き出すためのプログラムや競技種目体験プログラム等を実施し、将来的に本県スポーツ界のリーダとなる人材を育成するものです。

この日のオーディションには、県内から434名【6年生215名(男子122名、女子93名)、4年生219名(男子129名、女子90名)】の子どもたちが参加し、それぞれが、30m走・立ち幅跳び・上体起こし・反復横跳び・ボール投げ(メディシンボール)の5種目に挑戦。学校で挑戦したことのある種目が多いとは言え、初めて顔を合わせる子ども同士、そしてオーディションという緊張感、引率してきた保護者の熱い眼差しの中、子どもたちは最後まで真剣に取り組んでおり、大きな期待感に包まれたオーディションになりました。

どの子どもたちも自分の限界に挑戦していましたが、中には関係者の目を引きつけるような優れた記録を出す子どもや、どの種目でも好記録を出す子どももいて、レベルの高さと、潜在能力の高さを感じました。

今後、オーディション委員会を経て選考された111名が3月6日(日)の第2次オーディションに進み、さらに選考された上で、約40名の子どもたちが、4月に予定されている認定式で「宮崎ワールドアスリート」第1期生として認定され、未来のアスリートを目指すプロジェクトがスタートしていきます。

今後も、県民の皆様のご理解と熱いご支援をよろしくお願いいたします。



30m 走



上体起こし



反復横跳びの様子

athlete
training
workout
speed
muscle
one
step
jogging
exercises
legs
run
sports
swear
determ
vitality
jo
energy
running
competition
ra
healthy
race
fit
beautiful
athletic
power
girl
body
spring
fem
success

平成27年度 「女性アスリート研修会」

平成28年2月13日(土)、宮崎市のJA・AZMホール本館大研修室において、本年度2回目となる「女性アスリート研修会」を開催しました。10月21日(水)には、競技団体の女子選手強化担当者等を対象に「第1回女性アスリート強化対策会議」を開催し、「女性アスリートが抱える特有の問題へ対する対応」について共通理解を深めました。

今回は、参加対象者を、競技団体をはじめとして県高等学校競技力強化推進校・県中学校競技力向上推進校・学校体育連盟まで広げ、また、「女性アスリートに対する効果的なトレーニング」や「女性アスリートに必要な栄養」も含め、女性アスリートに特化した研修内容といたしました。当日は、女性アスリートを指導する監督はもとより、多くの選手・保護者も参加しており、この研修会に対する関心の高さが伺えました。

(写真は左から、能瀬氏・井崎氏・山崎氏)



能瀬氏による講話では、月経が及ぼすパフォーマンスへの影響についての講義があり、必要に応じて月経をコントロールし、大会に臨むことも大切であること。何よりも、月経に対する理解を深めることが大切であることを強調されました。



井崎氏の講義では、女性に多いスポーツ障害と女性の身体的構造の特徴の紹介と併せて、それを予防するための体幹トレーニングの説明がありました。講義では、ただトレーニングをするのではなく、どこを意識して取り組むかが大切であるということでした。



山崎氏の講義は、アスリートにとって必要なエネルギーについて細かな説明があり、そのためにはバランスよく食事を摂ることや摂るタイミングを考えることが大切であると、食事の目安を示しながらの説明でした。

3人の講師に共通していたのは、「女性アスリートの三主徴」です。つまり、大会等に合わせた無理な減量や過度の運動・練習等が「エネルギー不足」につながり、それが「運動性無月経」や「骨粗しょう症」を引き起こすという関係です。女性アスリートの疲労骨折はこの三主徴からくるものであり、したがって、エネルギー摂取とトレーニングのバランスを図ることが、女性特有の問題の解消に繋がるとともに安定したパフォーマンスの発揮にもつながると言えます。

今後、本県においても女性アスリートの活躍は大いに期待されますし、2巡目国体を見据えたときには、女子競技力の向上が必要になってきます。今年度は女性特有の問題を理解する研修でしたが、今後は、女性アスリートに対する指導法等を含め、より指導現場に即した内容にしていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

スポーツ少年団便り

ミヤザキ・スポーツ リーダーズ・ セミナー2015

Go for The GOLD
～スポーツでみんな笑顔に！



講師：ヨーコゼッターランド氏
元女子バレーボールアメリカ代表
日本体育協会理事

青少年スポーツ活動の活性化と指導者相互の連携と資質の向上を図るため、指導者及び育成母集団等を対象とした「ミヤザキ・スポーツリーダーズ・セミナー2015」が、UMK テレビ宮崎協力のもと、平成27年12月12日（土）にKIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室で開催されました。

本年度は、元女子バレーボール アメリカ代表で現在、日本体育協会理事であるヨーコゼッターランド氏を迎え「Go for The GOLD ～スポーツでみんな笑顔に！」と題して講演していただきました。

指導者を始め、保護者、少年団でバレーボールに汗を流している団員など多数の参加があり、分かりやすくユーモアのある話に引き込まれていきました。

また、講師の方には、講演が終了した後も短い時間ではありましたが、子供たちの質問に答えていただきました。元オリンピック選手とふれあえたことは、子供たちにとっても大変有意義な時間でした。

参加した指導者の方々からは、「指導者の視点や選手としての視点の考え方を聞き、改めて指導者としての姿を振り返ることができた。」「日本とアメリカの考え方、設備等の違いについて学ぶことができ勉強になりました。」「競技の結果だけでなく、自身が目指すプレーヤーに近づいているかが重要という内容に改めて考えさせられました。」などたくさんの感想をいただきました。

本セミナーは、今回で20回を数え、これまで多くの著名人に講演をいただき、県内の多くの指導者が知識を得てきた事業であります。

本県開催が内々定している「第81回国民体育大会」、「第26回全国障害者スポーツ大会」に向けて、指導者育成も大きな課題となっていますので、今後も更に充実した事業にしていきたいと考えております。



スポーツ少年団便り

第42回 日独スポーツ少年団 交流事業木城町受入



この事業は、日本、ドイツ両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流により、友好と親善を深め、国際能力を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として実施される事業です。本年度は、木城町が受入をしてくださいました。木城町では受入に向けて、地域住民やスポーツ少年団指導者が協力して木城町の良さや文化に触れてもらうため、関係者が2回の実行委員会と1回の受入家庭説明会を実施しました。比木盆踊り体験では、地区のお年寄りから小学生まで幅広い地域住民の方々がプログラムに参加をしていました。また、石河内地区でのプログラムでは婦人部を中心にサポートしていただきました。

●実施状況

8/2
(日)

いちき串木野市迎え
表敬訪問
スポーツ少年団員交流

場所／いちき串木野市
場所／町総合交流センター
場所／木城町体育館

8/3
(月)

木城中学校との交流
竹笛作り
呈茶体験
比木盆踊り体験

場所／木城中学校
場所／町総合交流センター
場所／木城町体育館
場所／比木地区自治公民館

8/4
(火)

各民泊プログラム

場所／各民泊プログラム

8/5
(水)

ソフトテニス交流
カレー・団子作り
武道(剣道)体験
さよならパーティー

場所／いしかわうちテニスコート
場所／石河内公民館
場所／農業者トレーニングセンター
場所／川原自然公園

8/6
(木)

お別れ式

場所／町総合交流センター



指導者協議会便り

平成27年度 宮崎県スポーツ指導者研修会

日本体育協会ジュニアスポーツ法律アドバイザー
日本スポーツ少年団常任委員

望月浩一郎 氏

平成28年2月7日(日)に、KIRISHIMA ツワブキ武道館で宮崎県スポーツ指導者研修会が開催されました。本研修は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新義務研修にもなっています。

当日は一般の参加指導者も含めて、約300名の参加でした。

本年度も、特別講演では「反倫理的言動(暴力・体罰行為等)の根絶」をテーマに実施しました。

講師には、日本体育協会ジュニアスポーツ法律アドバイザー、日本スポーツ少年団常任委員の望月浩一郎氏(虎ノ門協同法律事務所)をお招きし、過去の様々な事例と弁護士としての専門

的な立場から、具体的に御講演いただきました。様々なスポーツ界のトップアスリートの意見を紹介した

り、実際にあった体罰が行われている映像を見ながら、わかりやすい内容で進めていただきました。

特に、平凡な指導者は「言って聞かせる」、良い指導者は「説明する」、優秀な指導者は「やってみせる」、しかし、最高の指導者は「子どもの心に火をつける」というウィリアム・ウォードの名言の紹介は印象的でした。



都城市歯科医師会会長
たぐち歯科医院

田口 健 氏

続く講義では、「スポーツと歯科」と題して、元本県スポーツ医・科学委員会委員で、現在は都城市歯科医師会会長の田口健氏(たぐち歯科医院)に、御講義いただきました。

我々が、日常、無意識に動かしてる顎関節の仕組みや、乳歯から永久歯に変わるメカニズム、また、「マウスガード」、「歯の咬み合わせ」によるスポーツへの影響について、詳しく説明していただきました。

中でも、「咬み合わせ」がもたらす、人間の基本姿勢への影響が、スポーツにおける重要なパフォーマンスにも大きく関わってくるという点については、私たち指導者にとって、大変興味

深く感じました。

本協議会としても、競技力を向上する上で、大変重要な視点であると考え、田口氏にお願いしたところで

す。今後、日本のスポーツ界においても「スポーツデンティスト」の重要性が求められる時代になることは間違いないと思います。

参加者の方々の、これからの指導に役立てていただければ幸いです。



スポーツ医・科学委員会便り

管理栄養士が サポートするスポーツと食事

(公社) 宮崎県栄養士会会長

日高 知子

はじめに

現在では、「スポーツと食」の関係が、ごく当たり前のようになっています。少し前までは、スポーツ分野における食や栄養の問題はあまり重要とされていなかったように思います。

「国体候補選手メディカルチェック」において、3年前から国体候補選手の食事調査を実施しました。聞き取りの手法で選手と話をしていくと、食事が自分のからだをつくるという大きな要素は理解していても、具体的にどうすればよいかわからないという選手が実に多いということがわかりました。

食事調査の結果と検査データをつきあわせてみると、貧血気味の選手は、肉類のほとんどが鶏肉であったり、緑黄色野菜の不足等がみられ、鉄と葉酸不足が考えられました。このように食事調査をしてみると、結果から各個人の身体状況や栄養状態を把握することができます。その後は、各個人ごとに結果表を配布することで、参考にしてもらいました。各個人が自分のからだの状態と食事の関係を、しっかり理解し実践できるようになることが将来のアスリート生活にも大きな影響を与えられます。

この食事調査は、種目別での調査や年齢に応じてデータ化しており、蓄積した結果については、各個人に「評価表」及び「今後の理想的な食品構成表」等にしてお返ししています。

アスリートの食事は、一般の方の普通の食事と大きく変わるわけではなく、基本はバランスの良い食事を摂ることが一番大切なことであり、そこに競技によつての食べ方、食べる時間帯などを考慮してい

くことが大事なことになります。

ややもすると、健康食品やサプリメント類に頼りたくなるかも知れませんが、まずは食事をきちんと摂ることによって、サプリメントに頼らなくてもよい状態にすることが何よりも大切なことです。

人間にとって必要な栄養素の中で、特に欠かせない栄養素は、糖質・たんぱく質・脂質といわれ、元気に活動するためのエネルギー源です。さらにからだの調子を整えるビタミンやミネラルという、なくてはならない栄養素もあります。ビタミンは、からだの潤滑油みたいなもので、精巧な機械でも油がきれるとうまく機能しないのと同じように、たくさんのガソリン（たんぱく質・糖質・脂肪）を入れてもビタミンが不足するとからだの中では有効に使われないのです。これらを合わせて5大栄養素と呼び、これにからだの有害物質を排出する食物繊維は6番目の栄養素と呼ばれます。

また最近では、ポリフェノールやカテキンなどのように栄養そのものではないのですが、からだの機能を強化する機能性成分も注目されています。私たちが摂取する食事の中の栄養が、からだのなかで消化吸収され、筋肉になる材料が蓄えられ、それがトレーニング等によってやっと筋肉がつくられますので、しっかり食べることを意識することが大切です。競技によって、より多く摂取したいという栄養素もありますが、基本はバランスよく食べることが最も大切であるということを御理解くださればありがたいです。

人間に必要な (栄養素)と働き

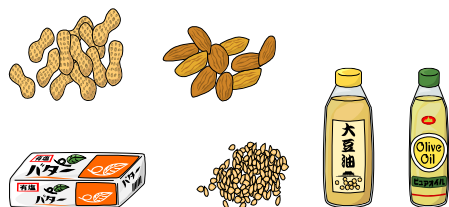
糖 質

糖質はすぐにエネルギーに変わる効率の良い主要エネルギーで1gあたり4kcalのエネルギーをだしビタミンB1と一緒に摂ることにより効率よくエネルギーに変換してくれるたのしい栄養素である。



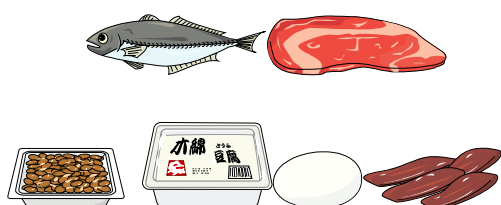
脂 質

脂質1gあたり9kcalのエネルギーをだしてくれる効率のよいエネルギーで細胞膜や神経細胞の材料、血液の成分、ホルモンの材料になり、持続的な動きを維持する役割をもっている。ただ、摂りすぎると肥満、不足するとエネルギー不足になるので注意が必要。



たんぱく質

アミノ酸の結合したものがたんぱく質で、筋肉、臓器その他からだの細胞の主成分になる。アミノ酸の9種類は必須アミノ酸とよばれ食物から摂取しなければならないといわれている。卵、肉、魚介などの動物性と大豆製品の植物性のものがあり両方バランスよく摂ることが大切。



ビタミン

糖質、脂質、たんぱく質の働きを助ける役割がありからだの機能を正常に保つ働きをする。ビタミンは13種類あり、疲労回復、骨の強化、免疫力アップなど重要な役割をもっている。野菜、果物に多く積極的に摂りたい食品である。



ミネラル

カルシウム、鉄、マグネシウム、カリウムなどからだの機能調整としてミネラルはかかせない栄養成分である。

運動すると汗をかき、からだから水分とともにナトリウムやミネラルが失われるため運動後はしっかり補給することが大事である。



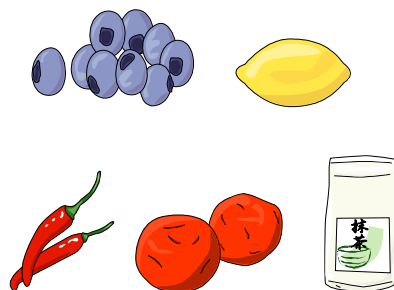
食物繊維

食物繊維は、根菜類とよばれるごぼうや大根、れんこんなどに多く、かさが多くなるので減量期に活用すると心理的に満足感が得られるだけでなく減量に伴う便秘を防ぐことができる。ただし、摂りすぎは腸内ガスが溜まることがたまにあるため注意が必要である。



機能性成分

免疫機能を高めたり、生活習慣病を予防するなどからだを守る働きがある成分として注目されているもので機能性成分とよばれている。抗酸化作用のあるポリフェノールや免疫力を高めるカテキンなどがあり、また柑橘系に含まれるクエン酸は疲労物質の乳酸の生成を抑制すると同時に分解を促進する働きがある。また大豆に含まれるイソフラボンが骨粗しょう症の予防につながるといわれている。



まとめ

以上のように、最低限知ってほしい食べ物の栄養成分について述べましたが、食事はアスリートへの第一歩であり、食べ方のコツを覚えておくことが大切です。

今回、(公社)宮崎県栄養士会は、宮崎県からの委託で、アスリートフードメニューを作成しました。増量メニュー、減量メニュー、貧血予防メニューとして、単品ごとに13項目の栄養成分を表示しました。これを利用するにあたっては、自分の目的にあわせて選択し、トレーニング内容と照らし合わせながら実施していただきたいと思います。

これを食べれば、「筋肉がつく」とか、「からだに良い」というものではなく、自分のからだの状態をよく知り、競技及びトレーニング内容、トレーニング時間、生活環境にあわせて選んで食事をしていくことが大切です。

各個人の体格、顔が違いうようにすべてが同じではないので、自分のことは自分で食習慣が決定できるように学んでくだされば幸いです。そのためには、食事のことは管理栄養士に相談していただければ、いつでも相談・対応できる状況を栄養士会



は準備しています。

将来、自分がアスリートを目指しているのであれば欠かせないのが食事ということを念頭において、できるだけ若いうちからしっかりと正しい食習慣を身につけてほしいと願っています。

加盟団体便り(1) 串間市体育協会

わくわくサイクリング
in くしまの開催

串間市では近年、サイクリング熱が高まっています。市サイクリング協会が2014年に市体育協会に加盟。昨秋には串間の豊かな自然風景を楽しむ第2回の「わくわくサイクリング in くしま 2015 秋」が開かれ、市中心部から都井岬を往復する約86kmコースに150人、赤池溪谷往復の30kmコースに100人が参加しました。

都井岬に通じる道はアップダウンが激しいです。一般人にはなかなか分からない感覚ですが、愛好者にとって高低差のある道路は魅力的ということです。心地良い疲労感の中で眺める都井岬の景色も素晴らしいと評判で、次回開催を心待ちにしている参加者も多いです。

休憩ポイントでは、串間の特産品である甘藷（かんしょ）や果物などが提供されました。地域活性化にもつながるので、市体育協会としても今後もバックアップしていきたいです。



弓道場の完成

串間市総合運動公園内に市営弓道場が完成し、今年1月に道場開きがありました。10人立ちのできる県トップレベル施設で市の競技力向上が期待されています。

2012年に串間市の福島中学校弓道部女子が全国優勝。昨年末、栃木県であった全国高校選抜大会女子個人で福島高校1年の竹本茉由（まゆ）さんが4位に入るなど、串間市の中高生は好成績を挙げています。弓道場は中高生の頑張りがあって整備されました。市体育協会はさらなるジュニア選手強化に向けて指導者らと連携し、大会や合宿誘致にも務めていきたいです。



南九州武道大会の開催

串間市体育協会は毎年1月、南九州串間武道大会を開いています。35回目の今年は剣道と四半的弓道が行われ、県内外から約810人が参加。剣道は小中学生の団体戦と中学生の個人戦を実施しました。年明け最初の公式戦として毎年熱気に包まれています。



また、近代5種競技で1960年のローマ、1964年の東京と2年連続五輪に出場した内野重昭さんを称える「内野杯」をバレーボール、グラウンドゴルフ、テニス、ソフトテニス、少年野球、弓道の6競技で実施しています。各種大会、和気あいあいとした雰囲気です市民の健康づくりにつながっています。

加盟団体便り(2) 宮崎県バレーボール協会

宮崎県における バレーボール競技の現状について

宮崎県バレーボール協会 理事長 中馬 義郎

■ 1 登録状況について

区 分	2007年	2015年	増 減
小学生	2675	2216	-459
中学生	2904	2261	-643
高校生	1565	1300	-265
大学生	139	153	+14
一 般	502	560	+58
合 計	7785	6490	-1295

表：JVA-MRS より作成

上の表は、宮崎県における各カテゴリーの登録人数を示している。増減をみてもわかるように、8年前から全体で1295名も競技人口が減少している。

特に、小・中・高校生の減少が著しい。

少子化に伴い、競技者人口の減少は否めないところはあるが、近年、さまざまなスポーツにおいて、男女問わず国際的な活躍が目覚ましく、普及活動が盛んにおこなわれている。それによって、小・中・高校生にとって、部活動の選択の幅が広がったことも減少の要因と言えるのではないだろうか。

しかしながら、バレーボール競技も女子日本代表の活躍はもちろん、男子日本代表も「NEXT4」の出現で、人気は急上昇してきている。また、バレーボール競技のプロリーグである、Vプレミア・チャレンジリーグにおいて、宮崎県出身選手も多数在籍しており、今シーズンVチャレンジ日向・高千穂・えびの大会において活躍し、大盛況であった。1月9日、10日には、

Vプレミアリーグ延岡・宮崎大会が控えており、こちらでも宮崎県出身選手の活躍が期待される。

これらの明るい話題が、競技者増加に繋ることを願う。また今後も、第一線で活躍する選手が誕生するよう競技力向上に努めたい。

バレーボール競技は、6人制に限らず、9人制やビーチバレー、ソフトバレーがある。小学生低学年から高齢者まで幅広く楽しめるスポーツとして、宮崎県に根付いている。



ママさんバレーでは、平成27年11月に長崎県で開催された第41回九州ママさんバレーボール優勝大会において、1部と3部で優勝するなど、素晴らしい成績を収めている。

ビーチバレーでは、全国大会の予選会のみならず、宮崎県内大会も開催され、4人制の宮崎県オリジナルルールを採用するなど、普及に努めている。

ソフトバレーボールは、小学校の教材としても取り入れられており、昨年度は小学生を対象とした第1回ソフトバレーボール大会が開催された。参加者及び指

導者の共通理解のもとに、小学生低学年でも楽しめるように、ネットの高さを低くしたり、サーブを打つラインを近づけたりするなど、オリジナルルールを採用している。今年度は残念ながら台風のため開催することができなかったが、来年度も開催を予定しており、多くの参加を期待している。

このように、バレーボール競技は幅広く生涯スポーツの一環としての役割も担っており、競技力向上のみならず、県民の健康増進に寄与したい。

■ 2 チャレンジマッチ大会について



宮崎県バレーボール協会
強化委員長 山形 圭二

平成 27 年 6 月 27、28 日に第 6 回宮崎チャレンジマッチ（バレーボール競技）が開催された。この大会を通して、反省と今後の取組について考察した。

チャレンジマッチは、6 月末ということで、県高校総体が終わってから約 1 カ月後の開催となる。国体を見据えて、選抜チームで臨んだわけだが、男女共にチーム練習と言うものがほぼ出来ていない状態で、チーム全体の雰囲気も今ひとつだった様に感じた。

試合内容については、大阪府立大塚高校、大阪金蘭会高校という、全国高校総体で優勝を目指しているチームに対し、選抜チームの弱さを見せてしまったことは否めないが、全国トップレベルのチームと対戦することにより、選抜チームの課題が明確化し、強化に役立てることができた。

このチャレンジマッチが行われたことで、国体の少年男女は例年よりも早くチームづくりに取り組む事が

でき、このような機会を与えてくださったことに感謝している。

今後の取組については、今回のチャレンジマッチの経験を生かし、早めの取組と出来る限り多くの練習、合宿を行い国体の九州ブロック通過・本国体での点数獲得に向けて活動を続けていきたいと考える。

その中でも、スタッフの選考を早く行い、スタッフとも相談をし、選手選考を行い、チーム編成については一つの学校を母体としてその他の学校から補強してチームを編成が出来る様に取り組んで行きたいと考えている。

また、3 年生のみのチーム編成ではなく、次年度の事も考慮して 2 年生を今までよりも多く選抜し、国体選抜チームの強化に繋げて行きたいと考える。

更に今回、大阪の男女トップチームをチャレンジマッ



チに招待していただいた中で痛感したことは、データ収集・分析をして試合に臨む事の大切さである。この点について、更なる研究を進め、今後の強化に繋がていきたい。

■ 3 おわりに

宮崎県体育協会、宮崎県教育委員会、その他多くの機関に支援していただいていることに感謝申し上げます。

今後も宮崎県バレーボール協会では、競技力向上はもとより、低年齢層から高齢者まで幅広く、バレーボール競技を通して、青少年の健全育成、県民の健康に寄与したいと思います。

総合型地域 スポーツクラブ便り (1)

西米良村「総合型地域スポーツクラブ」



西米良村の総合型地域スポーツクラブ『メラスポチャレンジクラブ』は、2年間の準備期間を経て、平成25年2月に創設されました。

これまで活発に行われていた、ミニバレーボールやソフトボール・剣道・フットサルなどのスポーツ活動の一層の充実を図るとともに、ヨガやシェイプアップなど、新たなスポーツ教室等を展開しています。

平成27年度のクラブ会員数は、準備期間から含め過去最高の222名（平成28年1月末現在）と、西米良村民（約1,200名）の約1/6が会員という状況で、村民1人ひとりの運動・健康増進に対する意識の高さがうかがえます。また、クラブ会員になると、村内の各スポーツ施設使用料が全額免除になったりスポーツ保険の手続きが一本化されたりと

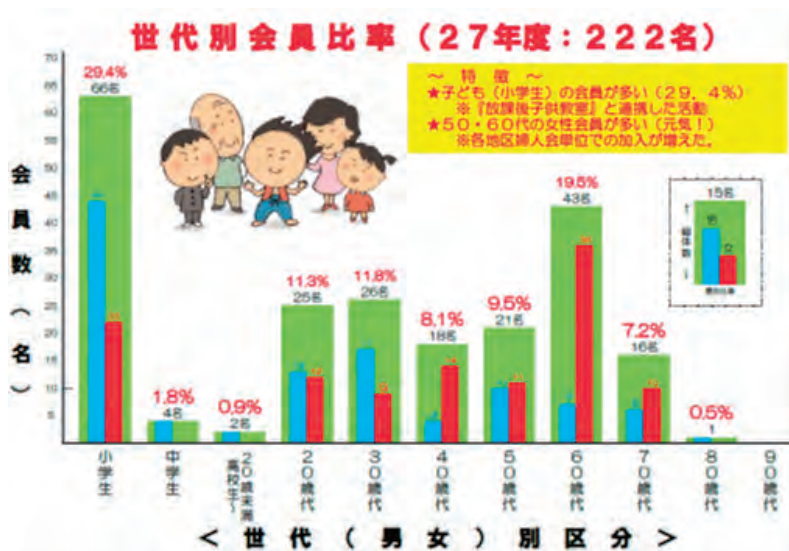
いった、特典（メリット）も加入促進につながっているのではないかと思います。その他、生涯学習教室として、フラワーアレンジメントやアクセサリーづくりなど、スポーツ活動以外の活動を展開し、スポーツが苦手な人にも加入していただけるような取り組みも、会員増加の要因であると分析しています。

なお、村内の各社会教育団体やスポーツ競技団体の多くに加入いただいているほか、当クラブの特色として、小学校で取り組んでいる「放課後子供教室」と連携して事業を展開しているため、ほとんどの小学生がクラブ会員です。毎週、村外からソフトテニスの指導者を招いて、1年生から6年生まで、それぞれのレベルに応じて楽しく活動をしています。併せて、村内の指導者養成を見

据え、一緒に活動する中で、指導のノウハウを身に付ける取り組みも行っています。

クラブの運営については、村体育協会と一体的に行っています。会長、副会長・クラブマネジャー・村スポーツ推進委員・村教育委員会が運営委員を務め、各競技団体・スポーツ少年団・学校・商工会・社会教育団体の各代表が理事となり、多様な立場からクラブに関する意見、助言をもらえるような組織としています。

本村のような過疎地域においては都市部のように多種多様なスポーツ教室等を実施することは難しいですが、今後も常に村民の声（ニーズ）を把握しながら、イベントの企画や新たなスポーツ教室を展開し、村全体のスポーツ推進に少しでも貢献できればと思っています。



総合型地域 スポーツクラブ便り (2)



クラブ理念

スポーツの力を、もっと。

クラブマネージャー 福寿 真也

都城西スポーツクラブは、1986年4月に都城西小学校で創部された「都城西サッカースポーツ少年団」が母体となり、サッカー競技において活動が幼児期から各年代に応じた一貫指導を実現するため、指導者が中心となり、総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）として2014年2月24日に設立しました。

私事ですが、総合型クラブとの出会いは、福島県に在住していたころです。所属していたクラブが総合型地域クラブでした。実際はどのようなクラブなのかは知りませんでしたが、ある日クラブスタッフに連れられ福島県の総合型クラブが一同に集結する催しに参加しました。そこでは、各クラブのスポーツ教室が行われ、運営者の勉強会や保護者向けの栄養学の講習会、外では豚汁などの振舞いがあり、スポーツをする人以外の楽しみ方がありました。

子どもの成長を支える親や生きがいを見つけている高齢者、地域の中でそれぞれの居場所があり、運動が人々の生活の中にある光景を見て「これだ!」と感じたことは今でも覚えています。

2011年3月11日、日本は大きな震災に見舞われました。震災が日中であったことから、子どもは親から離れて学校

や園にいたケースが多かったです。大人や親が子どもを守ってあげたくとも、何もしてあげられないこともあるのだと痛感しました。子どもであっても命を左右するような判断を瞬時に迫られることが有り得るということです。判断力、決断力を高める方法は様々ありますが、その一つがスポーツではないかと思います。試合という場に立てば自分しか頼るものはありません。教えや経験は役に立つがこれが正しいという「唯一の答え」はありません。スポーツにおけるこういった経験は「自分でなんとかする」という覚悟のようなものが、自然と養われていくと思います。被災にあった子どもたちに私たち大人は残念ながら「二度と怖い思いはさせない。心配しないで。」と言ってあげることができません。生きていけば、これからどんなことが起きるかは予想できません。私たちは守ってあげるのではなく、生き抜いていく知恵と勇気を受けて心を育てることも重要になります。おそらくその一つがスポーツであり、スポーツの大きな価値だと思います。

2012年4月より、スポーツ振興くじ（toto）の助成を受け、活動しています。地域にあるものを探しながら活動していると、指導者や協力者に出会います。そこから教室が増え運動をする人・支える人と繋がっていきます。それこそが、クラブの理念でありその形が総合型クラブだと思います。

これまでの失敗をこれからの活動に活かし、スポーツを通じて“町おこし”をすることがクラブの明確な理念です。



総合型地域 スポーツクラブ便り (3)

第5回宮崎県 エンジョイスポーツ フェスティバル

5回目を迎えたエンジョイスポーツフェスティバルは、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を中心に、県教職員互助会・県体育協会・県スポーツ施設協会の主催で実施している事業です。広く一般県民の皆様に、より楽しくスポーツに触れていただくという目的で県内4ブロックで開催されました。



● あさぎりブロック ●

開催期日／平成27年10月11日(日)
開催場所／石山体育センター、山之口体育館
実施種目等／○スポーツバイキング

(輪投げ・ディスクゲッターナイン・スポーツガラッキー・エチレクボール・ラダーゲッター・スカットボール・フロッカー)
○ノルディックウォーキング
○バドミントン

● にしもろブロック ●

開催期日／平成27年10月31日(土)
開催場所／えびの市民体育館
実施種目等／○ウォーキング講習会

講師：川端利彦 氏
(医療法人善仁会市民の森病院総合健診センター所長)
○スポーツバイキング
(ミニテニス・ヒットだ! ターゲット・低床型玉入れ・スポーツ吹き矢・ウォーキング)

● 県央ブロック ●

開催期日／平成27年10月25日(日)
開催場所／宮崎県体育館
実施種目等／○スポーツバイキング

(ボルダリング・ストラックアウト・ボウリング・なぎなた・ターゲットバードゴルフ・風船バレー・ラージロボ・ドッチビー・ミニサッカー・ロコモ・ヨーガ・卓球バレー・キックターゲット・フライングディスク)
○健康相談コーナー

● 西都・児湯ブロック ●

開催期日／平成27年11月3日(火)
開催場所／木城町川原自然公園
実施種目等／○スポーツバイキング

(ミニサッカー・フットサル・アジャタ・グランドゴルフ・バスケットボール・ディスクゲッター)
○チャレンジ鬼ごっこ

指導の 現場から



前号では日章学園高校ボクシング部の長嶺秀昭氏を紹介いたしました。今回は国民体育大会サッカー競技成年男子2連覇という素晴らしい成績を収めました、宮崎産業経営大学サッカー部監督である笛真人氏にお話を伺いました。

笛 真人 氏
宮崎産業経営大学
サッカー部監督 監督歴 15 年



事務局 まずは、国民体育大会サッカー競技成年男子2連覇に対しまして、改めて御祝いと感謝を申し上げます。また、宮崎産業経営大学サッカー部におかれましては、九州大学サッカー部1部において4位という好成績を収められました。重ねまして御祝い申し上げます。

事務局 さて、国民体育大会九州ブロック大会から試合を拝見させていただきましたが、全ての試合で接戦でありました。しかし、昨年と同様に試合を重ねるごとにチームが強くなっていったような気がします…。その要因は何でしょうか。

笛 氏 サッカーはチームプレーです。能力の高い選手がたくさんいるから勝てるとは限りません。個々の選手がうまくかみ合わなければ勝つことはないと思います。私の選手選考において最も重要視しているのはメンタルの強さです。その情報を得るには大変苦労しますが、ここ一番で必ず生かされます。

例えば、今年度の国体の決勝戦（対京都府）ですが、宮崎県は1本もシュートを放つことができず0-1のビハインドで前半を終

えました。しかし、私は全く負ける気がしませんでした。なぜなら、ハーフタイムの間も、選手の目が生き生きとしており、後半はシステムを大きく変えようと考えていたからです。システムを変えることについては、リスクも生じますが、メンタルの強い選手達なら十分に対応できると考えました。

その期待どおりに、後半は別人のようにチームが機能し、逆転で連覇を果たしました。

事務局 なるほど、15名の選手がそれぞれに重要な役割を担い、それをうまく機能させたことが連覇の要因だったんですね。

次にチーム構成ですが、今年のチームも大学生と社会人の融合チームでした。その選手を指導するにあたって、御苦労または配慮されたことはありますか。

笛 氏 特に取り組んだことはコンビネーションです。その際に、選手同士がより鮮明なイメージをもち、共有するということが大切になってきます。

また、スタッフと選手が一体化するのはもちろんですが、練習時間以外でも選手間の交

流が深まるような取組をしてきました。

事務局 選手を見ていて、本当に仲が良いという印象を受けました。それが持ち前の粘り強さに繋がったのでしょうか。

さて、監督の姿を見ながら、うまく選手の長所を引き出していることを強く感じます。何か普段の指導で心掛けていることはありますか。

笛 氏 タイミングと人間関係については細心の注意を払っています。私の趣味が人間観察とまではいいませんが（笑）。

選手が指導を聞き入れる状況でない時は、どれだけアドバイスしても効果がありません。できる限りいつも絶妙なタイミングを見計らいながらアドバイスをするように心掛けています。また、私と選手の人間関係も大切になってきます。選手から信頼されるような指導者になることを目指しています。

事務局 そのためにも、時には選手の目線に立ち、可能な限り選手と時間を過ごすことが大切になってきますね。

来年度は、国体3連覇達成に向けての期待

が大きいわけですが、それに向けての取組等があれば教えてください。

笛 氏 今はそれぞれの所属チームで強化する時期です。ただ、来年度の九州ブロック大会の開催日程が約1ヶ月早まっていますので、準備を早く始めなければなりません。私のチーム作りのイメージは描いていますけど…。

事務局 最後になりますが、本県スポーツ界が更なる競技力向上を目指す上で、何かお考えがあればお聞かせください。

笛 氏 競技力向上に特効薬はないと思います。ハード面も含めた少しずつの積み重ねが大切です。私は「歴史は変えられる」と常々考えています。私は鹿児島県出身ですが、宮崎県は食べ物は美味しいし、気候は温暖です。様々なプロスポーツ選手がキャンプを行う程の恵まれた環境にあります。もっとこの素晴らしい宮崎県に誇りをもって欲しいと思います。

事務局 ありがとうございます。今回は御多忙中にも関わらず、取材に応じていただいたことに感謝申し上げます。今後の更なる御活躍を期待しております。



取材を終えて

今回は、笛真人監督にスポットを当てました。国体サッカー競技成年男子チームを2年連続日本一に導いた手腕には、確立された指導理念が存在しました。また、笛監督の人柄の良さゆえに、選手からの信頼もこの上なく厚いと感じました。

最終的には笛監督の念願である「宮崎県にプロサッカーを！」が実現することを願うとともに、史上初の国体3連覇の達成を大いに期待しています。

チーム宮崎ペンリレー

宮崎の輪っ!

前号(210号)は県立宮崎南高校フェンシング部顧問の濱上紀子氏にお願いしました。

今号は、同校陸上部の顧問である小坂康弘氏にバトンタッチされました。小坂氏は県立小林高校女子駅伝部を14年間指導されました。

今回は、その14年間の指導を振り返っていただきました。



小林高校女子駅伝部の14年間

宮崎南高等学校 教諭 小坂 康弘

平成11年4月、小林高校へ異動、同年、陸上部から女子駅伝部として独立し、初代監督になった。小林高校は普通科と普通科体育コースがあり、部員のほとんどは体育コースに所属して寮生活を送っていた。しかし、当時の生徒達は長距離選手としての自覚や意識は低く、駅伝で勝負する状況ではなかった。まずは意識改革をし、長距離の基本から徹底して指導していくことが大切だと判断した。そして、その年の夏合宿はレベルの高い九州の駅伝学校と合同合宿(阿蘇)をさせて貰った。諫早(長崎)、信愛女学院(熊本)、神村学園(鹿児島)、戸畑商業(現在、北九州市立)は、当時全国レベルであり駅伝の常連校であった。勿論、練習には全くついていけなかったが、全国で勝負する学校の練習や生活を学ばせるチャンスだと思った。合宿中のある日、全国高校駅伝3連覇を達成された

埼玉栄高校の監督の講演を聴く機会があった。これは意識を変えるには有り難いと期待して私は生徒達の後ろの方で聴いていたが、講演が始まり数分もしないうちに居眠りをしているのは小林高校の生徒だった。私はその状況を見た瞬間に冷や汗をかき忸怩たるものがあった。講演が終わり直ぐに別の部屋に生徒達を呼んで今回の合宿に参加した意味を理解させ、今の自分たちのレベルに気づかせた。そして、私は生徒に「今年の11月の県大会は絶対に優勝して都大路に行く!」と明確な目標を持たせた。駅伝はチームプレイであり、誤魔化しの効かない競技だということを毎日のように伝えた。生徒達は強豪校との合宿を行ったことで、寝食を共にしたことは徐々に行動に変化が出てきた。また、全国高校駅伝に出場するためには、生活と夏の練習が重要だと私自身が知らされた合宿

だった。

秋に入りいよいよ駅伝シーズンに入る頃、足の痛みを訴えてくる選手が出てきて故障者が続出した。やはり、「無理があったのか？」次第にグラウンドを走る選手がいなくなった。そんな時に近くの病院で貧血検査をしたらほとんどの生徒が貧血状態にあった。その病院の先生は男子駅伝部を数十年も支えている話を聞いて、今後、女子駅伝部も定期的に貧血検査をして貰うよう頼み込んだ。まずは寮の食事を見直し、好き嫌いをなくして自己管理を徹底させ生活を大事にすることを心がけた。その結果、徐々に故障者は回復して大会で自己新記録を出し始めた。夏の走り込みは間違いではなかったと確信したが、夏の疲労を抜くタイミングを私が間違えたことは大きな反省点になった。

11月に入り小林高校女子駅伝部としての初の県予選を迎えた。レースは前半接戦だったが、3区以降は安定した走りで首位を守り9年ぶりのゴールテープを切った。しかし、九州大会、全国大会と全く相手にして貰えず、全国大会は23位の結果に終わり生徒達は全国の厳しさを知らされた。そこからが小林高校女子駅伝部としての本当の意味で、スタートラインに立ったと感じた。今後、全国で勝負するためには、まず、選手勧誘に力を入れ、県内だけでなく県外まで勧誘することだと判断し足を運んだ。

翌年も県大会は優勝し、全国大会では16位と順位を上げたがそれに満足することなく再び選手勧誘と強化に全力を尽くした。そして、九州の強豪校を凌駕することを常に思い「全国で勝負するチームをつくりたい!」と強く自分の胸に刻んだ。

その後、県予選は順調に連覇を果たし、平成15年長崎、平成16年島根インターハイ3000mで入賞する選手も出てきた。駅伝は1区エースを育てることが必要不可欠であることが全国大会を経験して学んだ。そして、

この道より、我を生かす道なし、我この道を行く

平成16年の県大会は大会新で優勝、全国大会は悲願の7位入賞し、宮崎県最高記録を樹立、平成17年は11位に落ちたが、その悔しさを1年間思い続け、平成16年は6位入賞を果たし、宮崎県最高記録を塗り替えた。

平成18年3月、世界クロスカントリー（ケニア）に出場する選手が出て、日本代表として参加し私もコーチとして派遣された。ケニアは長距離王国であり、どんな練習をしているのか？興味深いところであったが、現実には貧困が厳しく練習環境も恵まれていなかった。それに比べたら日本の練習環境は整っており色々な意味で贅沢だと思った。

日本ジュニア女子は団体4位でメダルは獲れなかったが、ケニア遠征は大変勉強になった。また、韓国遠征や横浜国際女子駅伝にもコーチとして参加し、貴重な経験をする事が出来た。また、日本トップの大学、実業団の監督達とも知り合うことができたことは、指導者としてたくさんの収穫があった。

その後も県大会は連覇し、14年連続全国大会に出場したが、選手達には全国大会は行くところではなく“勝負するところ”だと伝えてきた。しかし、有望な選手や留学生を勧誘する私立高校に対抗し、全国8入賞することは厳しい時代になったと痛感した。

小林での14年間は宮崎市の自宅を離れ、単身赴任の生活は決して楽なものではなかった。自分の健康管理に留意しながら過ごしてきたが、14年間無事にやり遂げられたのも数多くの支援者のお蔭だと感謝している。小林高校女子駅伝部は、全国でも駅伝の常連校になったことには違いないが、それは小林高校女子駅伝部に親元を離れ入部してくれた生徒、そして、練習環境に恵まれたことだと言える。

平成25年度、宮崎南高校に赴任した。小林に比べたら練習環境も厳しいが、今でも「もう一度、都大路で勝負したい!」そんな情熱は誰にも負けたくない!今までの経験を生かし、今後、生徒との出会いを大事にしたい。

第2回公益財団法人宮崎県体育協会 会長杯争奪ゴルフ大会



平成 27 年 11 月 7 日 (土)
青島ゴルフ倶楽部において、
「第 2 回宮崎県体育協会会長
杯争奪ゴルフ大会」が開催さ
れました。今回は、2 巡目国
体本県開催が内々定し、大会
成功に向けての機運を更に盛
り上げようと、賛助会・競技
団体から総勢 39 名が参加さ
れました。あいにくの曇り空
でしたが、午後からは太陽も
顔を覗かせ、和気藹々の雰囲気
で親睦を深めることができました。



佐藤勇夫会長の始球式



ベストグロスの甲斐氏 (レスリング協会)



大阪往復航空券獲得の丸田氏 (県卓球協会)

チーム対抗優勝の県柔道連盟
(川畑氏・鳥居氏・石川氏・日高氏)

二冠達成の鳥居氏

平成28年 新春関係者の集い



様々な立場の皆様が、それぞれの立場で
和やかな雰囲気での意見交換

二巡目宮崎国体・ 障害者スポーツ大会 成功祈念懇親会

平成28年1月20日(水)宮崎市内の「ホテルマリックス」において、本協会の賛助会員を中心に県・県議会・市町村関係・加盟団体等、146名の参加を得て「新春関係者の集い」が開催されました。

平成38年国民体育大会・第26回全国障害者スポーツ大会の本県開催が内々定し、本年が開催10年前となるため、「官民挙げて大会成功に向けて取り組んで行くきっかけ作り」と「本協会の知名度アップ」を図る目的で計画、開催されました。

会場内ではそれぞれの立場で、本県スポーツ界の様々な課題や、国体本県開催に伴う意見・要望等も多く出され、あちこちで熱い議論が交わされていました。



佐藤会長の開会のあいさつ



国民体育大会天皇杯得点
永年連続獲得競技団体感謝状贈呈

「私たちは宮崎のスポーツを応援します」

《ご協力ありがとうございます》

本会の賛助会員として御入会を賜り、事業推進にご協力いただいております個人・団体・企業の皆様方の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、平成38年度本県開催国民体育大会成功のため、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

(平成27年4月1日から平成28年2月末現在)

50音順、敬称略

I 法人・企業・団体名(151)

旭化成株式会社延岡支社	アリストンホテル宮崎
一般財団法人弘潤会野崎東病院	一般財団法人みやぎん経済研究所
医療法人雅会河野整形外科	雲海酒造株式会社
エースランド株式会社	江坂設備工業株式会社
Mスポーツ整形外科クリニック	大塚製薬株式会社宮崎出張所
大淀開発株式会社	小田油脂工業
学校法人順正学園九州保健福祉大学	学校法人宮崎総合学院
株式会社AVC放送開発	株式会社JTB九州宮崎支店
JTB協定タクシー連盟宮崎会	JTB協定旅館ホテル連盟宮崎支部
株式会社青島グランドホテル	株式会社イー・アール・シー高城
株式会社エアラインホテル	株式会社エスアイエス
株式会社岡崎組	株式会社九州コミュニティーカレッジ
株式会社共立電機製作所	株式会社黒木本店
株式会社興電舎	株式会社コム光成
株式会社児湯食鳥	株式会社タダスポーツ
株式会社タビックスジャパン宮崎支店	株式会社テレビ宮崎
株式会社デンサン	株式会社永野（うめこうじ・ながの屋）
株式会社中山荘	株式会社日本旅行株式会社宮崎支店
株式会社日向製錬所	株式会社ニチワ
株式会社ニューウエルシティ宮崎	株式会社ホテルマリックス
株式会社ホテル四季亭	株式会社宮交シティ
株式会社宮崎観光ホテル	株式会社宮崎銀行
株式会社宮崎信販	株式会社宮崎太陽銀行
株式会社宮崎ツアーサービス	株式会社宮崎日日新聞社
株式会社宮崎放送	株式会社宮崎山形屋
株式会社夕刊デリー新聞社	株式会社ヨシダや
神崎建設工業株式会社	協同紙工株式会社
京屋酒造有限会社	霧島酒造株式会社
倉本鐵工株式会社	公益財団法人スポーツ安全協会宮崎支部
公益財団法人みやぎ観光コンベンション協会	公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会
合資会社小川屋	合資会社ルミエール日向
興梠豆腐有限会社	興和商事株式会社
子宝・安産の宿 地藏庵	清本鐵工株式会社
高鍋信用金庫	手作り弁当マロ
野崎漬物株式会社	延岡信用金庫
バラの砂	ビジネスホテル有明
ビジネスホテルかなや	フェニックスリゾート株式会社
福岡木材有限会社	部落差別をなくす県民会議
弁護士法人衛藤法律特許事務所	保険サット株式会社
ホテルシーズン日南	ホテル浜荘
ホテルメリージュ	松田商事株式会社
丸山物産株式会社ホテルクレイン橘	丸山物産株式会社ホテルスカイタワー
道本食品株式会社	南日本酪農協同株式会社
宮銀カード株式会社	宮銀ビジネスサービス株式会社
宮銀ベンチャーキャピタル株式会社	宮銀保証株式会社

宮銀リース株式会社
 都城信用金庫
 宮崎カーフェリー株式会社
 みやざき魚菜志ほ
 宮崎ケーブルテレビ株式会社
 宮崎県仕出し弁当協会
 宮崎県遊技業協同組合
 宮崎信用金庫
 宮崎ひむかライオンズクラブ
 宮交ホールディングス株式会社
 名鉄観光サービス株式会社宮崎支店
 有限会社青木画材店
 有限会社いろは企画
 有限会社かわにしスポーツ
 有限会社郡山板金工業所
 有限会社武政自動車整備工場
 有限会社宮崎上水園
 ゆち内科胃腸科クリニック
 旅館牧水
 一般社団法人宮崎県サッカー協会
 一般財団法人宮崎陸上競技協会
 宮崎県弓道連盟
 宮崎県高等学校野球連盟
 宮崎県銃剣道連盟
 宮崎県スケート協会
 宮崎県卓球協会
 宮崎県軟式野球連盟
 宮崎県バドミントン協会
 宮崎県武術太極拳連盟
 宮崎県ライフル射撃協会
 宮崎県レスリング協会

都城市郡ホテル旅館組合
 宮崎液化ガス株式会社
 宮崎ガス株式会社
 宮崎空港ビル株式会社
 宮崎県運動具商組合
 宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合
 宮崎酸素株式会社
 宮崎日産自動車株式会社
 宮崎ヤクルト販売株式会社
 民宿美波
 米良電機産業株式会社
 有限会社いっせい・お弁当のくらく亭
 有限会社金住
 有限会社教互センター
 有限会社創和
 有限会社橋本商会
 有限会社吉見歯科器械店
 吉原建設株式会社
 旅情苑やまざと
 一般社団法人宮崎県バスケットボール協会
 串間市体育協会
 宮崎県ゲートボール協会
 宮崎県四半的弓道連盟
 宮崎県柔道連盟
 宮崎県ソフトボール協会
 宮崎県中学校体育連盟
 宮崎県馬術連盟
 宮崎県バレーボール協会
 宮崎県ボウリング連盟
 宮崎県ラグビーフットボール協会

Ⅱ 個人会員(88)

秋田義久	朝比奈紀行	東啓三	東行男
新木るり	安在康喜	飯干裕二	家入里美
石原実	井上みづえ	井野浩司	岩切昭二郎
岩切正義	内之倉和彦	宇都和美	大西敏夫
大山直生	尾崎太朗	長田貞次郎	押川尚生
甲斐藤昭	甲斐守	鹿島庄一郎	鎌田伸次
上江田安博	川崎重雄	川添健一	河内徳康
河野幸榮	木宮浩二	黒木誠一郎	桑畑裕子
財津吉長	斉藤重保	坂口和隆	佐藤勇夫
佐野正紀	塩月光夫	茂谷國正	重信和行
菅薫	園田浩二	高山秀明	田代均
田中ちどり	谷口行孝	田村司	中馬光久
土井智喜	東長達也	長倉春義	長友辰雄
長友文子	長友寧雄	永野雄造	中村正親
中村嫁苗	丹生進一	萩尾英司	橋田和実
原口宏史	原田昭彦	原田種英	原田誠
日浦二三男	日高巽	廣田彰	廣田忠則
藤元良一	古川康二	古木克浩	前原央志
松本忠志	三浦徹也	水迫勇	宮田育俊
宮田直之	向井大蔵	森九州男	森隆茂
横山博	横山武司	米丸麻貴生	若林繁幸
若林美津子	和木健一	渡邊理	和田保典

Ⅲ 香典返し(5)

坂口和隆・野崎伸一・橋口俊彦・平野富子・若林美津子

編集後記

まずは、本年度の公益財団法人宮崎県体育協会における、全ての事業等が無事に終了したことを御報告申し上げますとともに、関係各位の方々からの御支援等に心より感謝いたします。

この1年間を振り返りますと、本県スポーツ界にとっては、新しい門出の1年だったように思います。それは昨年7月に「国体開催内々定」を得たことです。このことは、本県のスポーツに携わってこられた方々の念願でありました。そして内々定を得たということは、事実上の開催が決定したことになります。

本協会では、2巡目国体を10年後に見据え、「宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」や「女性アスリート強化対策会議」等の新しい取組を始めました。今後は、これらの事業をさらに深化させることはもとより、今までに取り組んできた様々な事業に関しても、抜本的な見直しを図っていきたいと考えております。

また平成28年度は、本県が主管となり、国民体育大会九州ブロック大会が県内8市町、県外4市町で開催されることになっております。この大会開催の成功に向け、本協会も2年前より段階を踏まえながら業務を推進してまいりました。「希望郷いわて国体2016」に繋がる大会となりますので、円滑な大会運営はもちろんですが、宮崎ならではの「おもてなしの心」を持って、運営に臨みたいと思います。そして競技面では、「地の利」を生かし、九州ブロック突破数40種目を最低ノルマとして取り組んでいきたいと考えています。

さて、今回もおかげさまで、本誌「宮崎体協211号」を発刊することができました。この発刊に際し、御多忙の中、寄稿・写真提供をしていただいた全ての方々に心より感謝を申し上げます。

最後になりますが、今後も本協会として、宮崎県スポーツの発展のために、誠心誠意、努力してまいりますので、これからも温かい御支援・御鞭撻を心よりお願い申し上げます、編集後記とさせていただきます。



●事務局●

公益財団法人 宮崎県体育協会
〒889-2151 宮崎市大字熊野字島山1443-12 KIRISHIMA
ヤマザクラ宮崎県総合運動公園受付・案内所2F
TEL 0985-58-5633 FAX 0985-58-5630
E-mail / miyazakiken@japan-sports.or.jp

●発行所●

公益財団法人 宮崎県体育協会
編集発行人 川崎 重雄

●表紙写真●

第71回国体冬季大会
スポーツ優秀賞・奨励賞(小・中・高校生)

【お詫びと訂正】

前回宮崎体協210号に掲載致しましたP.10「日本スポーツ少年団・県スポーツ少年団 指導者・単位団表彰」におきまして誤りがありました。正しくは以下の通りです。

P.10【誤】田上 孝行 藤岡野球(三股町) → 【正】田上 孝行 勝岡野球(三股町)

読者の皆さま、関係者の皆さまにご迷惑をお掛けいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。



医療法人雅会

河野整形外科

整形外科・リウマチ科
リハビリテーション科・外科

日本整形外科学会 整形外科専門医

院長 河野 雅行

診療時間

A.M.8:00～P.M.7:00

休診日／日曜・祝日・土曜午後

☎0985-39-3313(代)

病棟用 0985-39-2633

宮崎市大字島之内7309 <http://www.miyabi-kai.jp/>

バス／10号線沿い住吉停留所 徒歩3分

鉄道／JR日豊本線 住吉駅 徒歩10分

駐車場あり
60台

神奈川

八光堂

タダスポーツ

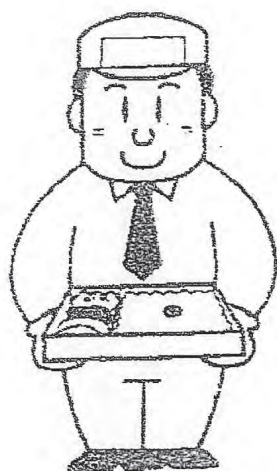
宮崎店

〒 880-0841 宮崎市吉村町曾師前甲3169-4
電話 (0985) 24-2639 FAX (0985) 33-9552

都城店

〒 885-0023 都城市栄町1623-1〈1F〉
電話 (0986) 46-3334 FAX (0986) 44-3319

弁当はお任せください



木花運動公園
すぐ近くです！

地元ならではの材料で
作る美味しい手作り弁
当はいかがでしょう！
大会前日までにご予約
いただいた方にはさら
にサービスいたします。

ご予算に応じて
内容も変更可能！

手作り弁当
マロ

県総合運動公園前

TEL 0985-58-0785

FAX 0985-58-1252

大 正 7 年 創 業

小川屋伝統の安心と信頼の味でおもてなし



小川屋

会席 ・ 折詰 ・ 弁当 ・ オードブル

各種会合、行事、スポーツ大会等にご用意いたします！
配達・空回収も承りますのでお気軽にご相談下さいませ。

【宮崎店】

宮崎県宮崎市柳丸町 144

TEL 0985-22-5251 FAX 0985-23-5904

【都城店】

宮崎県都城市宮丸町 2794

TEL 0986-36-6555 FAX 0986-36-6556

ホームページ <http://www.ogawaya.org>

「夢、感動、
チャレンジ」

名鉄観光はスポーツを
する人をサポートします

名鉄グループの幅広いネットワークで一翼を担います

 名鉄観光

名鉄観光サービス(株)宮崎支店

〒880-0001 宮崎市橘通西2丁目4-20 (アクア宮崎ビル5階)

TEL 0985-26-1414・FAX 0985-20-7355

E-MAIL : miyazaki@mwt.co.jp



日本旅行の 新しい旅のテーマです

「自然にやさしい旅」
「体にやさしい旅」
「ここにやさしい旅」



株式会社日本旅行 宮崎支店

観光庁長官登録旅行業第2号

〒880-0812 宮崎県宮崎市高千穂通り1-6-35 住生命宮崎ビル1F
TEL:0985-24-5255 FAX:0985-24-9162
営業時間:平日 9:30~17:30 土・日・祝休業



旅行業公正取引
協議会 会員



(社) 日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員



感動のそばに、いつも。

おいしい空気に
会おうのも旅。



JTB九州は「スポーツランドみやざき」を応援します！

JTB 九州宮崎支店

JTB協定旅館ホテル連盟宮崎支部

JTB協定タクシー連盟宮崎会

〒880-0805

宮崎県宮崎市橘通東 4-7-28

電話／0985-29-3511

ファックス／0985-27-1124

<http://www.jtb.co.jp/shop/miyazaki/>



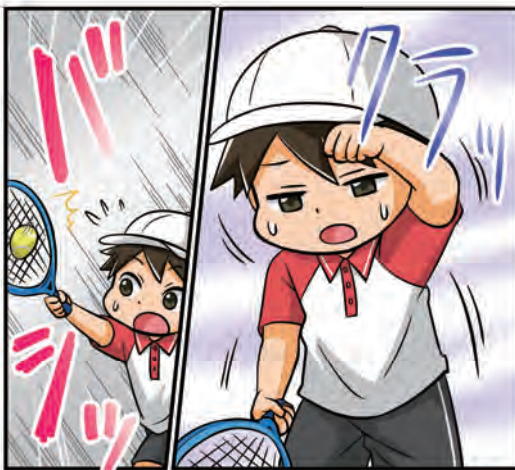
まかせて安心

いざというときしっかりサポート

スポーツ安全保険



傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険



- 対象となる事故** 団体活動中の事故 / 往復中の事故
- 保険期間** 平成28年4月1日午前0時から平成29年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成28年3月から)
- 掛金** 掛金(1人年額 800円~11,000円)は、活動内容・年齢によって
ご選択いただく加入区分ごとに異なります。
例 高校生以上64歳以下の方のスポーツ活動を補償するC区分は1,850円
- 補償内容** 補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。

スポーツ安全協会 検索 インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 宮崎県支部

〒889-2151 宮崎市大字熊野宇島山 1443-12 TEL0985-55-3136 電話受付時間: 午前8時30分~午後5時15分(土、日、祝日を除く)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

携帯電話から
資料請求ができます。



●資料請求は、インターネットより
受付しております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成28年4月)〉
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 富士火災 三井住友海上